



公立高校入学者選抜検査が終了しました

3月5日（火）～6日（水）に実施された佐賀県の公立高校選抜検査には6名。そして、6日（水）～7日（木）に実施された長崎県の公立高校選抜検査には16名の生徒が受検しました。今の心境はとりあえず緊張と不安から開放された安堵感と喜びで一杯ではないでしょうか。3年生全員が自分の希望する進路を実現できることを切に願っています。

これからは、学校全体が卒業式に向けて動いていきます。卒業式は学校行事の中でも最大の行事です。3年生の皆さんは、自分たちを支えてくれた全ての方に感謝の気持ちを持って、練習、そして本番に臨んでください。1,2年生の皆さんは、お世話になった3年生のためにすばらしい卒業式になるよう、準備を行っていきましょう。



選抜試験出題分析

1,2年生の皆さんは今後の学習に向けての参考にしてください。
（長崎新聞より一部抜粋）

【国語】

- ・例年通り大問4題（小説、古文、論説文、資料活用）の出題。
- ・日頃から多様な種類の文章にふれ、筆者の主張とその根拠を的確にとらえる力、また、目的に即した書く力をつけることが必要である。

【英語】

- ・昨年同様大問4題（聞き取り、内容理解、英作文、長文読解）の出題。
- ・基本的な語彙（単語）や文法をしっかり身に付け、短時間で英文の概要をつかむ力が求められている。

【理科】

- ・例年通り物理・化学・生物・地学の4分野から2題ずつ出題。
- ・実験・観察の目的・方法や用語などを確実に習得し、根拠を基に理由等を文章化する力を高めることが大切である。

【数学】

- ・例年通り大問6題の構成。
- ・日頃から基礎・基本の学習を大事にするとともに、事象を数理的に考察して解決する力およびそれを表現する力を高めることが求められる。

【社会】

- ・問題数は昨年度と同様43問。歴史・地理・公民の分野でバランスよく出題されている。
- ・新聞記事や「ふるさと長崎県」などの郷土学習資料を活用し、これまで以上に世の中の出来事や身近な地域に関心を持ち、自分なりの考えや意見を持つ習慣を身に付けることが望ましい。

三川内ふるさと祭り

3月3日（日）、うつわ歴史館2階ホールで「三川内ふるさと祭り」が行われました。今年で31回目を迎える三川内地区の一大行事です。本校からは、文化芸術部がリコーダーアンサンブルの演奏を披露してくれました。プログラムの一番最初ということで緊張したと思いますが、日頃の練習の成果を存分に発揮してくれました。スタッフとして3年生4名、1年生1名の有志の皆さんも裏方として舞台を支えてくれました。舞台発表以外にも展示発表や出店などもあり、大賑わいの一日でした。

